



unknown

concept

ベネツィアカーニバルの装飾的な衣装や仮面

周囲に適応するあまり硬い仮面を被ってしまう「外的側面」「内側に潜む自分」を指す、
心理学のペルソナからインスピレーションを受けデザイン。

私たちは表と裏がある。仮面を被り裏を隠しながらさまざまな顔を演じながら生きている。

その仮面から解放されることで今を超えて未知と出会う。

inspiration



ベネツィアカーニバル

イタリアのヴェネチアで毎年冬に開催される「ヴェネツィア・カーニバル」は、世界三大カーニバルのひとつに数えられています。

中世にベネチアで実際に行われていた仮面舞踏会が起源とされており、仮面を着けることで身分や階級を気にせず自由を満喫する事が目的です。

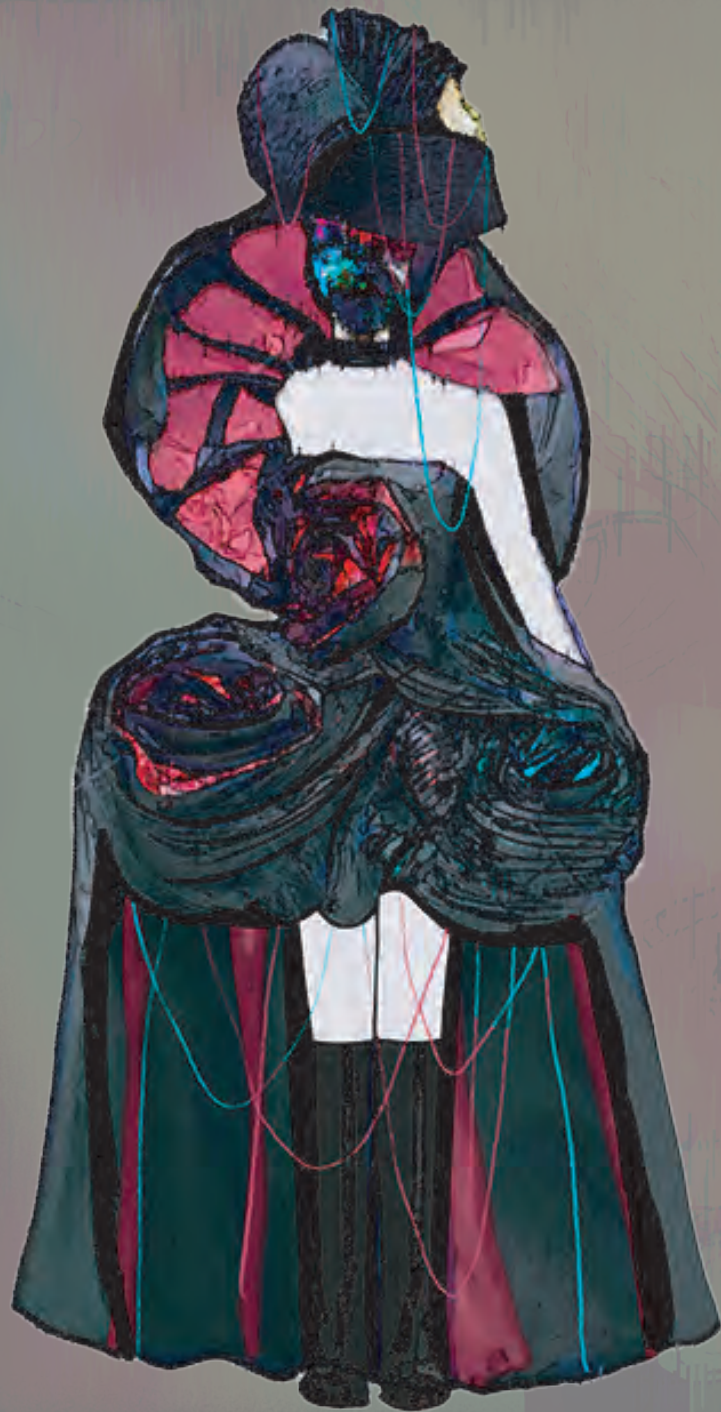


心理学ペルソナ

ペルソナとは、自己の外的側面。

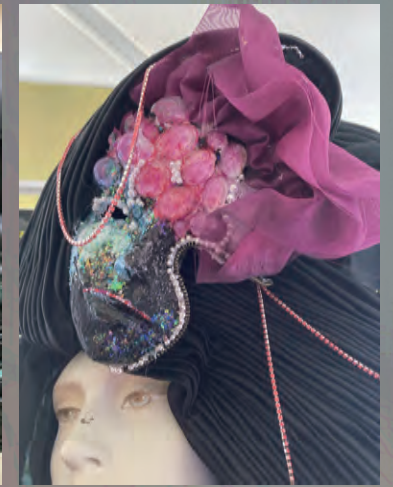
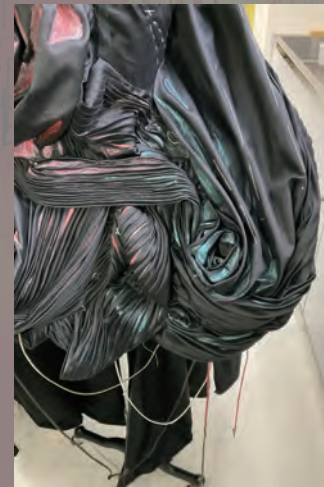
例えば、周囲に適応するあまり硬い仮面を被ってしまう場合、あるいは逆に仮面を被らないことにより自身や周囲を苦しめる場合などがある。

textile



0.5cm、1cm、2cm

3種類のピンタックを使用
ピンタックの間を絵の具で着色
隙間から見え隠れするように。



表裏一体を表現

仮面から解放され外面と内面が一つになる。

表と裏は密接で切り離せない。

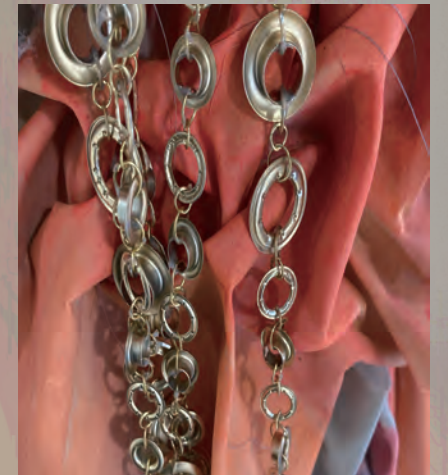
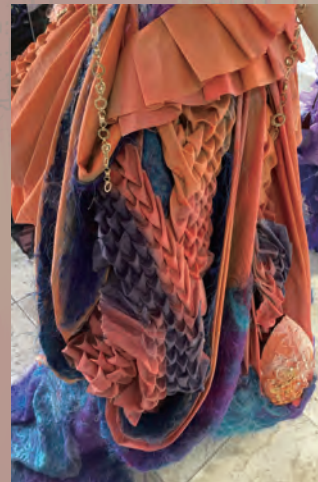
二つが交わることで新たなモノへと変貌する

textile



青、紫、赤のオーガンジーを裂き絡めたものを
上からミシンで叩き作成。

仮面から解放され隠していた内面が溢れ出しているイメージ
それは止まることを知らず、あらゆる所から侵食する



内面が溢れ出てオレンジ色を侵食していく。

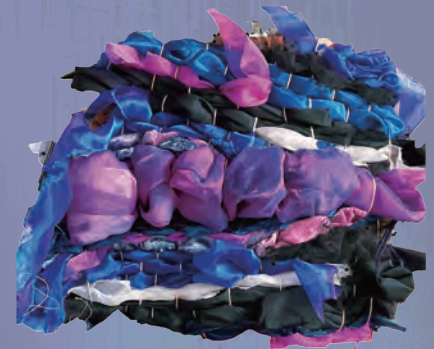
オレンジと青は反対色の関係

本来とは全く違う内面を解放し新たなものへと
生まれ変わっていく

textile

細い糸を縦糸にオーガンジー、
レース、サテン、などの生地を
織り込む。

普通に織り込まず筒状に縫ったり
編み込みながら使用。



内側に溜め込んでいたものが一気に仮面から解放された。
それは折り重なり肥大化していく。
その内面を一つも捨てることなく大切に背負う。

